

科目名	I Tストラテジ& I Tマネジメント		単位数	4	科目コード			
授業形態	講義		時間数	60	開設期	1 年生前期		
受講条件			開設時期	前期	教員実務経験対象	無		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	本授業では、「ITパスポート試験 シラバス Ver. 4. 0」におけるストラテジ系・マネジメント系のジャンルである、経営戦略、マーケティング、財務、法務など経営全般に関する知識と、プロジェクトマネジメントに関する知識を学習していく。 検定資格の資格としてITパスポートの合格を目指す。							
授業の一般目標	ITパスポートに合格できる知識を身につける							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	よくわかる2019年度 ITパスポート試験対策テキスト&過去問題集							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点 1. ITパスポートに出題されるストラテジ・マネジメント関連の専門用語を6割以上説明できる								
☐ 思考・判断の観点 1. 出題意図を理解したうえで計算問題を解答できる								
☐ 関心・意欲の観点 1. 過去問題を解き、知らない用語を自ら調べることができる。								
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1	企業活動			e-ラーニングによる学習を推奨				
2	業務分析、問題解決手法、意思決定			e-ラーニングによる学習を推奨				
3	企業会計（財務会計）			e-ラーニングによる学習を推奨				
4	企業会計（管理会計）			e-ラーニングによる学習を推奨				
5	知的財産権①			e-ラーニングによる学習を推奨				
6	知的財産権②			e-ラーニングによる学習を推奨				
7	セキュリティ、労働、取引の関連法規			e-ラーニングによる学習を推奨				
8	ガイドライン、技術者倫理、標準化関連			e-ラーニングによる学習を推奨				
9	経営戦略・経営情報分析手法			e-ラーニングによる学習を推奨				
10	マーケティング			e-ラーニングによる学習を推奨				
11	ビジネス戦略、技術開発戦略			e-ラーニングによる学習を推奨				
12	経営管理システム、ビジネスシステム			e-ラーニングによる学習を推奨				
13	エンジニアリングシステム、e-ビジネス			e-ラーニングによる学習を推奨				
14	情報システム戦略			e-ラーニングによる学習を推奨				
15	業務プロセスの調査・分析			e-ラーニングによる学習を推奨				
16	業務改善			e-ラーニングによる学習を推奨				
17	ソリューションビジネス			e-ラーニングによる学習を推奨				
18	S L C P 共通フレーム2007			e-ラーニングによる学習を推奨				
19	企画プロセス			e-ラーニングによる学習を推奨				
20	要件定義プロセス			e-ラーニングによる学習を推奨				
21	PMBOKとプロジェクトマネジメント			e-ラーニングによる学習を推奨				
22	プロジェクトタイムマネジメント			e-ラーニングによる学習を推奨				
23	サービスマネジメント			e-ラーニングによる学習を推奨				
24	サービスサポート			e-ラーニングによる学習を推奨				
25	サービスデリバリ			e-ラーニングによる学習を推奨				
26	ファシリティマネジメント			e-ラーニングによる学習を推奨				
27	監査業務			e-ラーニングによる学習を推奨				
28	内部統制			e-ラーニングによる学習を推奨				
29、30	期末テスト			e-ラーニングによる学習を推奨				
成績評価方法								
1 期末テストによって成績評価を行う。 2 I Tパスポートの合格、合格済みも成績に加味する 3 4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	◎	○				100	秀、S（4）：90点以上
小テスト							なし	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート							なし	良、B（2）：70点以上
授業態度							なし	可、C（1）：60点以上
発表・作品							なし	不可、E（0）：59点未満
演習							なし	未修得、履修放棄、F
出席							なし	（ ）内はG P A点数
担当教員	赤木 康二			実務経験紹介				

科目名	テクノロジⅠ	単位数	4	科目コード				
授業形態	講義	時間数	60	開設期	1年生前期			
受講条件		開設時期	前期	教員実務経験対象	無			
授業概要 （目的、目標とする資格・検定等）	本授業では、情報処理に関する基礎理論、コンピュータの構成知識、ネットワークやそれにまつわるセキュリティの知識を学習していく。情報処理系の資格としてITパスポートの合格を目指す。							
授業の一般目標	ITパスポートに合格できる知識を身につける							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	よくわかる2019年度 ITパスポート試験対策テキスト&過去問題集							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	ITパスポートに出題されるテクノロジー関連の情報処理用語について説明できる							
☐ 思考・判断の観点	出題意図を理解したうえで計算問題を解答できる							
☐ 関心・意欲の観点	過去問題を解き知らない用語を自ら調べることができる。							
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1	コンピュータの五大装置							
2	基礎理論							
3	中央処理装置							
4	主記憶装置、補助記憶装置							
5	インタフェース							
6	システム構成、クライアントサーバシステム							
7	マーケティングリサーチ、BPQについて							
8	マーケティングリサーチ、BPQについて							
9	フルバックアップ、差分バックアップ、増分バックアップ							
10	開発ツール、OSS（オープンソースソフトウェア）							
11	ヒューマンインタフェース、マルチメディア							
12	マルチメディアの応用							
13	データベース方式、データベース管理システム							
14	データベース設計、							
15	データ操作							
16	トランザクション処理							
17	データベース問題演習							
18	ネットワーク方式							
19	ネットワーク方式							
20	通信プロトコル							
21	IPアドレス、ルーティング							
22	インターネットの仕組み、							
23	インターネットサービス。通信サービス							
24	ネットワーク問題演習							
25	情報資産とセキュリティ							
26	脅威と脆弱性							
27	情報セキュリティ管理							
28	情報セキュリティ実装技術							
29	物理的セキュリティ対策							
30	セキュリティ問題演習							
成績評価方法								
1 授業内で小テストを行う。 2 授業最終期末によって下記観点から評価を行う。 3 ITパスポートの合格も加味する。 4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	◎					30	秀、S（4）：90点以上
小テスト	◎	◎	○	○			30	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート							なし	良、B（2）：70点以上
授業態度				◎			20	可、C（1）：60点以上
発表・作品							なし	不可、E（0）：59点未満
演習							なし	未修得、履修放棄、F
出席							なし	（ ）内はGPA点数
担当教員	赤木 康二		実務経験紹介					

科目名	テクノロジーⅡ	単位数	4	科目コード				
授業形態	講義	時間数	60	開設期	1年生後期			
受講条件	テクノロジーⅠ履修	開設時期	後期	教員実務経験対象	無			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	本授業では、情報処理に関する基礎理論、コンピュータの構成知識、ネットワークやそれにまつわるセキュリティの応用を学習していく。情報処理系の資格としてITパスポートの合格を目指す。また、既取得者については、情報セキュリティマネジメント、基本情報技術者試験の取得を目指すための授業を行う。							
授業の一般目標	ITパスポート、情報セキュリティマネジメント、基本情報技術者に合格できる知識を身につける							
受講条件	テクノロジーⅠ履修							
事前学習について（テキスト・参考書等）	基本情報技術者試験 対策テキスト 2019-2020年度版							
授業の到達目標								
□ 知識・理解の観点 ITパスポート、基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメントに出題されるテクノロジー関連の情報処理用語について説明できる								
□ 思考・判断の観点 出題意図を理解したうえで計算問題を解答できる								
□ 関心・意欲の観点 過去問題を解き知らない用語を自ら調べることができる。								
□ 態度の観点								
□ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
ITパスポートで学習した用語に加えて、基礎理論、ネットワーク、データベースにおいて基本情報技術者試験の出題用語を学習する。また情報セキュリティマネジメントの出題用語を網羅して、情報セキュリティマネジメント試験も受験できるようにする。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1	離散数学							
2	応用数学							
3	アルゴリズムとプログラミング							
4	コンピュータ構成要素							
5	システム構成要素							
6	ソフトウェア							
7	データベースの方式							
8	データの正規化							
9	トランザクション処理							
10	データベースの操作言語							
11	ネットワークの通信プロトコル							
12	データ制御							
13	IPアドレス							
14	インターネット							
15	情報セキュリティ							
16	マルウェア・不正プログラム							
17	サイバー攻撃手法							
18	情報セキュリティ管理							
19	情報セキュリティ対策							
20	情報セキュリティ技術							
21	平成30年春期情報セキュリティマネジメント午 前試験過去問							
22	平成30年秋期情報セキュリティマネジメント 午前試験過去問							
23	平成31年春期情報セキュリティマネジメント 午後試験過去問							
24	平成30年春期情報セキュリティマネジメント 午後試験過去問							
25	平成30年秋期情報セキュリティマネジメント 午後試験過去問							
26	平成30年春期基本情報技術者試験 午前試験過去問							
27	平成30年秋期基本情報技術者試験 午前試験過去問							
28	平成31年春期基本情報技術者試験 午後試験過去問							
29	平成30年春期基本情報技術者試験 午後試験過去問							
30	期末試験							
成績評価方法								
1 授業内で小テストを行う。 2 授業最終期末によって下記観点から評価を行う。 3 ITパスポートの合格も加味する。 4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	◎					30	秀、S（4）：90点以上
小テスト	◎	◎	○	○			30	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート							なし	良、B（2）：70点以上
授業態度				◎			20	可、C（1）：60点以上
発表・作品							なし	不可、E（0）：59点未満
演習							なし	未修得、履修放棄、F
出席							なし	（ ）内はGPA点数
担当教員	赤木 康二		実務経験紹介					

科目名	We b基礎		単位数	4	科目コード			
授業形態	講義		時間数	60	開設期	1 年生前期		
受講条件			開設時期	前期	教員実務経験対象	無		
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	本授業では、HTMLタグ、C S Sの属性指定を入力支援機能のないエディターで覚える。その後は制作効率を上げていくために、入力支援機能付きのエディタを使っていく。Web関係の資格としてWebクリエイター能力認定試験のスタンダード合格を目指す。							
授業の一般目標	HTMLタグ打ちによる文書構造の記述、C S S適用にによるHPデザインの作成							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	We bクリエイター能力認定試験HTML5対応 公式テキスト							
授業の到達目標								
□ 知識・理解の観点 HTMLタグ・CSS属性について説明できる。								
□ 思考・判断の観点 デザインページからのWebページ作成のブロック化できる。								
□ 関心・意欲の観点 デザインページの優れたページを参考に模範できる。								
□ 態度の観点								
□ 技能・表現の観点 文字、レイアウト、色彩を総合的にバランスよくデザインできる。								
授業計画（全体）								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1	メモ帳の設定、HTMLタグの基本							
2	見出しタグ、段落タグ、テーブルタグ、リストタグ							
3	ファイルパスについて							
4	画像ファイル配置							
5	CSSに係るセレクトア、プロパティとプロパティの値について							
6	We bフォント指定によるフォントデザイン							
7	HTML5で使用されるタグについて							
8	識別子とクラス指定による要素への名前つけ							
9	C S Sの基本的記述方法							
10	ボックスモデルを使ったレイアウト							
11	ナビゲーション領域のレイアウト							
12	display 属性でのボックス調整							
13	複数カラムのレイアウト作成							
14	back-ground属性の指定方法							
15	議事クラスを指定したアクション							
16	テキストの回り込みと回り込み解除							
17	疑似クラス first-child、last-childを指定した余白調整							
18	テーブルのタイトルと見出し作成							
19	テーブルのグルー プ化とレイアウト調整							
20	写真挿入とfigure指定とレイアウトの調整							
21	フォームページの作成							
22	デザインレイアウトについて							
23	サンプル問題							
24	サンプル問題解説							
25	模擬問題 1							
26	模擬問題 1 解説							
27	模擬問題 2							
28	模擬問題 2 解説							
29	模擬問題 3							
30	模擬問題 3 解説							
成績評価方法								
1 授業内で小課題を行う。 2 授業最終課題提出によって下記観点から評価を行う。 3 IllustratorRクリエイター能力認定試験のスタンダードを定期試験として実施し合格も加味する。 4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	◎			◎		30	秀、S（4）：9 0点以上
小テスト			○	○	◎		30	優、A（3）：8 0点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：7 0点以上
授業態度				◎			20	可、C（1）：6 0点以上
発表・作品					◎		20	不可、E（0）：5 9点未満
演習							なし	未修得、履修放棄、F
出席							なし	（ ）内はG P A点数
担当教員	赤木 康二			実務経験紹介				

科目名	写真加工	単位数	4	科目コード				
授業形態	演習	時間数	60	開設期	1年生前期			
受講条件		開設時期	前期	教員実務経験対象	○			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	Web制作上欠かせない写真データ加工の基礎（画像の移動、複製、消去、文字入力、）から色調補正、画像修正、切り抜き合成までを習得し、視覚効果にすぐれた魅力的なイメージ画像の制作までをPhotoshopを使って、演習を中心に行う。							
授業の一般目標	Photoshopの操作方を習得、デザイン性に優れた画像づくりを目指す。							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	Photoshop操作とデザインの教科書							
□ 知識・理解の観点 Web制作において写真加工の必要性が理解できる。デジタル画像のしくみが理解できる								
□ 思考・判断の観点 基本的な知識と技術を活用し、適正な色彩判断が出来る								
□ 関心・意欲の観点 どうすれば広告的効果が出せる写真になるか関心をもち意欲的に作品に反映できる								
□ 態度の観点 意欲的に「テーマ・課題」制作を行う								
□ 技能・表現の観点 実習を通してPhotoshopの操作法を習得し、自分なりのイメージ膨らませ、思い通りの画像を制作できる								
授業計画（全体）								
授業計画（授業単位）平常点20％ 課題30％ 実技試験50％								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～4	デジタル画像について							
5～8	描画ツールを使ってデジタル塗り絵を制作							
9～12	レイヤーの基本操作							
13～16	画像の色調補正							
17～20	調整レイヤーについて							
21～24	色の設定・グラデーション設定							
25～28	様々な選択範囲 1 簡単な合成写真							
29～32	様々な選択範囲 2 複雑な合成写真							
33～36	レイヤーマスクについて							
37～40	レイヤーマスクを使った合成写真							
41～44	課題制作 gifアニメでバナー広告を制作-1							
45～48	課題制作 gifアニメでバナー広告を制作-2							
49～52	課題制作 トップページ of ヘッダーをデザイン-1							
53～56	課題制作 トップページ of ヘッダーをデザイン-2							
57～60	総合課題							
成績評価方法								
1授業の理解度、取り組み姿勢 2課題の技能・表現力 3 4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		10%	秀、S（4）：90点以上
小テスト							評価なし	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B（2）：70点以上
授業態度				○			10%	可、C（1）：60点以上
発表・作品	○		○	○	◎		50%	不可、E（0）：59点未満
演習	◎	○		○	◎		30%	未修得、履修放棄、F
出席			○				欠格条件	（ ）内はGP点数
担当教員 兼森薫				実務経験紹介	電機メーカーにて販促デザインを担当。兼森総合デザイン事務所代表			

科目名	C G概論	単位数	4	科目コード				
授業形態	講義	時間数	60	開設期	1年生後期			
受講条件		開設時期	後期	教員実務経験対象	○			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	本授業では、Webデザインにおけるイラストやロゴ画像のを制作する点からIllustratorの使用について演習する。まず、Illustratorの基本機能につい操作ができるように基本的な事項について説明する。IllustratorRクリエイター能力認定試験のスタンダードに合格を目指す。							
授業の一般目標	illustratorの基本操作を使って、ロゴ作成、イラスト作成ができる。							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	世界一わかりやすいillustrator 操作とデザインの教科書							
授業の到達目標								
□ 知識・理解の観点 illustratorの各機能について説明ができる。								
□ 思考・判断の観点 ロゴ作成、イラスト作成のために、制作プロセスを思考できる。								
□ 関心・意欲の観点 積極的に、自からイラスト起こしを行う。								
□ 態度の観点								
□ 技能・表現の観点 イラスト作成のための曲線ポイントを滑らかに制作できる。 We b用のロゴのデザインができる。								
授業計画（全体）								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1	illustratorの画面				初期設定、画面について			
2	図形描画（四角形、円、多角形）				基本図形、線画について			
3	線描画（直線、曲線、画像トレース練習）							
4	オブジェクトの選択、変形							
5	アンカーポイントとハンドルの操作、練習問題							
6	オブジェクト編集（レイヤー操作、オブジェクト複製）							
7	オブジェクト合成、							
8	色の設定、グラデーションを使う							
9	線幅ツール、ブラシの適用、線の変形							
10	文字入力、文字編集							
11	特殊文字、段落スタイル							
12	3D効果、画像トレース、遠近グリッド							
13	表やグラフを描く							
14	病院のロゴマーク作成							
15	Aピ° アラスでWebA° ツ							
16	名刺のデザイン							
17	写真を配置したDM							
18	見開きパンフレット							
19	スタンダード 模擬問題-1							
20	スタンダード 模擬問題-1							
21	スタンダード 模擬問題-1							
22	スタンダード 模擬問題-2							
23	スタンダード 模擬問題-2							
24	スタンダード 模擬問題-2							
25	スタンダード 模擬問題-3							
26	スタンダード 模擬問題-3							
27	スタンダード 模擬問題-3							
28	スタンダード 模擬問題-4							
29	スタンダード 模擬問題-4							
30	スタンダード 模擬問題-4							
成績評価方法								
1 授業内で小課題を行う。								
2 授業最終課題提出によって下記観点から評価を行う。								
3 IllustratorRクリエイター能力認定試験のスタンダードを定期試験として実施し合格も加味する。								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	◎			◎		30	秀、S（4）：9 0点以上
小テスト			○	○	◎		30	優、A（3）：8 0点以上
宿題授業外レポート							なし	良、B（2）：7 0点以上
授業態度				◎			20	可、C（1）：6 0点以上
発表・作品					◎		20	不可、E（0）：5 9点未満
演習							なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はG P点数
担当教員	兼森 薫		実務経験紹介		電機メーカーにて販促デザインを担当。兼森総合デザイン事務所代表			

科目名	色彩概論	単位数	4	科目コード				
授業形態	講義	時間数	60	開設期	1年前期			
受講条件		開設時期	前期	教員実務経験対象	有			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	色の基本的な特性等を理解し、配色を効果的にすることで、心理的、生理的影響の知識を身につけ配色調和のバランスをとることができる。							
授業の一般目標								
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	色彩検定 公式テキスト3級編 過去問題集2018年度2・3級 新配色カード 100色							
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点	PCCS色相環、トーンを理解し、配色デザインやファッション、インテリアの色彩計画に生かすことができる。							
☒ 思考・判断の観点	配色理論に基づき、効果的な配色を考え論理的に説明出来る。							
☒ 関心・意欲の観点	色彩に関する関心を広げ、日常から色彩センスを磨く努力をする。							
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
色彩技能検定3級合格を目指し、公式テキストの内容を理解する。 日常生活で目的に合った効果的な配色が出来るようになる。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等	授業の記録			
1～4	色の三属性 カラーカード分け							
5～8	色の三属性							
9～12	PCCS							
13～16	PCCS、色相環							
17～20	PCCSトーン							
21～24	色彩心理、グループワーク							
25～28	色彩心理、商品パッケージ分析							
29～32	光と色 眼の構造							
33～36	光と色 照明							
37～40	混色ワーク 混色例							
41～44	対比、同化							
45～48	配色、配色ワーク、3色配色 作品作成							
59～52	ファッションカラー、ファッションカラー配色 作品作成							
53～56	インテリア							
57～60	模擬試験							
成績評価方法								
(1)授業の中で小テスト、グループワークを数回行う。 (2)グループワークでまとめたレポートを発表。 (3)配色ワークで作成した作品を発表、提出する。 (4)最後に試験を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。なお、出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	秀、S（4）：90点以上
小テスト	◎	○					20	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度			○				10	可、C（1）：60点以上
発表・作品	◎	○			○		20	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席			○				欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	田村 絵里子			実務経験紹介	https://profile.ameba.jp/ameba/palelilac-colorlab			

科目名	We bデザイン I		単位数	4	科目コード			
授業形態	講義		時間数	60	開設期	1年生後期		
受講条件			開設時期	後期	教員実務経験対象	○		
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	HTMLのタグを理解し、タグを使った文書構造が記述でき、C S Sの文法を理解し、C S Sを割り当てることで、WE Bページデザインができる。							
授業の一般目標								
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	Webクリエイター能力認定試験 HTML5対応 エキスパート 公式テキスト							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点								
☐ 思考・判断の観点								
☐ 関心・意欲の観点								
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1～4	H T M LとC S Sの役割							
5～8	H T M Lの基礎知識							
9～12	ページ全体の枠組み							
13～16	基本構造を表す要素							
17～20	C S Sの組み込み方法							
21～24	テキスト関連の要素							
25～28	色の指定方法							
29～32	テキスト関連プロパティ							
33～36	C S Sの適用先の指定							
37～40	基本構造を示す要素							
41～44	画像、動画、音声関連要素							
45～48	ボックス関連属性							
59～52	フロート関連属性							
53～56	リスト関連属性							
57～60	フォーム関連属性							
成績評価方法								
1 期末テストを実施								
2								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎						100	秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席								（ ）内はG P点数
担当教員	齊藤 寛和			実務経験紹介	https://www.noded.jp/blog/about/			

科目名	ビジネス会計Ⅰ		単位数	4	科目コード			
授業形態	講義		時間数	60	開設期	1年前期		
受講条件			開設時期	前期	教員実務経験対象	有		
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	目標検定【全国経理教育協会 簿記能力検定3級以上】【全国経理教育協会 電卓計算能力検定2級以上】 ビジネスに欠かせない電卓、簿記のスキルを客観的に測定することが可能です。 将来、企業で経理事務を担当しようとしている人には必須の検定試験です。 資格を取得すれば就職の際には心強いスキルとなります。しっかり出席して身に付けましょう。							
授業の一般目標	電卓の正しい打ち方をマスターできる、小規模株式会社の財務諸表が読むことができるようになる（簿記の一連の流れが把握できるようになる）							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）								
授業の到達目標								
□ 知識・理解の観点		貸借対照表、損益計算書が作成できる						
□ 思考・判断の観点		勘定科目が理解でき、仕訳ができるようになる						
□ 関心・意欲の観点		簿記の一連の流れが理解できるようになり、お金の流れなど関心を持つようになり経済意識を高めることができる。						
□ 態度の観点		日常生活の中で、財務諸表をもとに主体的に考えることができる						
□ 技能・表現の観点		正しい電卓の打ち方が習得できる						
授業計画（全体） 座学を中心に授業をします。電卓、簿記の検定試験取得にむけて何度も繰り返し指導していきます。 【全国経理教育協会】電卓計算能力検定2級以上、簿記能力検定3級以上に合格できるように、試験の傾向と対策踏まえ学習していきます。 ※個々の能力に応じ、受験級もしくは日商簿記受験対策など個別に指導します。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1～2	【電卓】電卓キーの種類と使い方							
3～4	指の分担練習、逆数計算、定数計算、見取算							
5～6	乗算、除算							
7～8	複合算、伝票算							
9～10	電卓計算能力検定検定対策							
11～12	【簿記】簿記とは、仕訳と転記、仕訳帳と総勘定元帳							
13～15	試算表							
16～20	現金と預金、当座預金、三文法、掛け取引、有価証券							
20～24	費用と収益、約束手形、その他の債権債務、株式							
25～30	決算の手続き、精算表、財務諸表							
31～40	試算表、精算表、財務諸表							
41～42	検定対策1問対応							
43～45	検定対策2、4問対応							
46～50	検定対策3問対応							
51～55	検定対策5問対応							
56～60	検定対策							
成績評価方法 1 授業の中で小テストを行う（電卓、簿記） 2 期末テストを行う（電卓、簿記） 3 検定試験に合格できる（電卓、簿記） 4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
検定試験合格（電卓）	◎						30	秀、S（4）：90点以上
検定試験合格（簿記）	◎						30	
小テスト	◎	○					10	優、A（3）：80点以上
定期試験	◎	○					30	良、B（2）：70点以上
授業態度							評価なし	可、C（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	吉村恵子			実務経験紹介	民間企業で営業・経理事務業務、指導を行う9年（日商・全経簿記、法人税、所得税検定合格）			

← 授業者が主語

← 学習者が主語

← 学習者が主語

← 学習者が主語

← 学習者が主語

← 学習者が主語

← 学習者が主語

← 授業者が主語

<=必要に応じて、増やしてください

<=必要に応じて、増やしてください

<=必要に応じて、増やしてください

<=必要に応じて、増やしてください

<=必要に応じて、増やしてください

<=必要に応じて、増やしてください

<=必要に応じて、増やしてください

<=必要に応じて、増やしてください

<=必要に応じて、増やしてください

<=必要に応じて、増やしてください

<=必要に応じて、増やしてください

<=必要に応じて、増やしてください

<=必要に応じて、増やしてください

<=必要に応じて、増やしてください



科目名	ビジネス実践Ⅰ	単位数	6	科目コード				
授業形態	講義・演習	時間数	90	開設期	1年生後期			
受講条件		開設時期		教員実務経験対象				
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	ネット通販の需要の拡大とともに、eコマース（ECまたは電子商取引）市場が急成長し、幅広い業種でのECの活用が進んでいるが、数多くの企業でECの実務に携わることができる人材の不足が指摘されている。本科目では、ネットショップ経営を熟知しているYahoo! JAPANの講師陣の講義を通じて、Yahoo!ショッピングへのネットショップの「開設」から「販売」・「集客」までの運営にあたり、必要な基礎的かつ実務的な知識を習得することを目標とする。							
授業の一般目標	(1)チームでのコミュニケーション方法の理解と実践できる。 (2)お客様、取り扱い企業とのコミュニケーションの理解と実践ができる (3)ネットショップの運営ができる							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	サーバー大学 コンテンツ、Yahoo!ショッピング 出店&運営 成功するコレだけ！ 技（技術評論社）							
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点 1. ネットショップの運営について説明できる。 2. 教育の各領域の概要と課題を説明できる。								
☒ 思考・判断の観点 1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。								
☒ 関心・意欲の観点 1. ネットショップに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。								
☒ 態度の観点 1. 日常生活の中でネットショップについて主体的に考えることができる。								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
eコマースについて理解を深めた後、Yahoo!ショッピングへのネットショップの「開設」から「販売」・「集客」までの運営にあたり、必要な基礎的かつ実務的な知識を習得する。同時に、学生ネットショップを実運営し、学んだ知識を生かして、体験する								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等	授業の記録			
1-3	eコマース入門							
4-6	Yahoo!ショッピングについて							
7-9	Yahoo!ショッピングのページとストアのページ							
10-12	Yahoo!ショッピングで自分のストアを作ってみよう							
13-15	ページのカスタマイズをしてみよう							
16-18	安心して購入いただくために							
19-21	お客様からの注文を受け付ける							
22-24	注文後のご要望への対応とストア分析							
25-27	統計情報を使いこなす							
28-30	販促メールをお客様に送る							
31-33	売上高アップの方法とアクセス権限管理							
34-36	マーケティングとは？							
37-39	ウェブマーケティング概論							
40-42	ウェブマーケティング実践							
43-45	総括							
成績評価方法								
(1)サイバー大学コンテンツを活用し授業の中で小テスト、授業内レポートを数回行う。 (2)成果発表会にて、取り組んだ内容について、プレゼンし、審査を受ける (3)以上を下記の観点・割合で評価する。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					10	秀、S（4）：90点以上
小テスト	◎	○	◎				20	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	良、B（2）：70点以上
授業態度			○				10	可、C（1）：60点以上
発表・作品	◎		◎	◎			50	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席			○				欠格条件	（ ）内はGPA点数

担当教員	河津 道正	実務経験紹介	
------	-------	--------	--

科目名	資格対策Ⅰ	単位数	4	科目コード				
授業形態	演習	時間数	60	開設期	1年生後期			
受講条件		開設時期	後期	教員実務経験対象	無			
授業概要 (目的、 目標とする資格・検定 等)	この授業科目は目標とする検定資格（ＩＴパスポート、情報セキュリティマネジメント試験、その他の資格）ごとにクラス分けを行い、それぞれ別の教室で資格対策の授業を行う。なお、学期途中で目標検定資格に合格した場合は、より上位資格を目指すクラスへと移籍することができる。 この授業科目では、自らが定めた検定資格合格を目標に、学習計画の立案、進捗状況確認、疑問点の改善を自発的に行いながら学習を行う。							
授業の一般目標	それぞれが目標とする検定資格に合格をする							
受講条件	なし							
事前学習について（テキスト・参考書等）	なし							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点 ・知識系検定試験の模擬試験において、合格点以上とることができる								
☐ 思考・判断の観点 ・計算系検定試験の模擬試験において、合格点以上とることができる								
☐ 関心・意欲の観点 ・検定試験対策を進める上で、わからない箇所を教員やクラスメートに質問することができる								
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点 ・実技系検定試験の模擬試験において、合格点以上とることができる								
授業計画（全体）								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～4	検定試験対策							
5～8	検定試験対策							
9～12	検定試験対策							
13～16	検定試験対策							
17～20	検定試験対策							
21～24	検定試験対策							
25～28	検定試験対策							
29～32	検定試験対策							
33～36	検定試験対策							
37～40	検定試験対策							
41～44	検定試験対策							
45～48	検定試験対策							
49～52	検定試験対策							
52～56	検定試験対策							
57～60	検定試験対策							
成績評価方法								
1 授業内で小テスト（模擬試験）を行う。 2 目標とする検定試験に合格した場合は加点を行う 3 4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験							なし	秀、S（4）：90点以上
小テスト	○	○	○		○		100	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート							なし	良、B（2）：70点以上
授業態度							なし	可、C（1）：60点以上
発表・作品							なし	不可、E（0）：59点未満
演習							なし	未修得、履修放棄、F
出席							なし	（ ）内はGPA点数
担当教員				実務経験紹介				

科目名	文書処理Ⅰ	単位数	4	科目コード				
授業形態	演習	時間数	60	開設期	1年後期			
受講条件		開設時期	後期	教員実務経験対象				
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	仕事をするうえで必要とされる情報処理活用能力のうち、Excel・Wordを利用した文書の作成ができる能力を養う。							
授業の一般目標	１．マニュアルを見なくても入力、作成ができる。 ２．関数、複雑なグラフなどExcelの応用した機能を活用した表計算シートの作成、Wordを応用した複数ページの文書の作成ができる。 ３．サートیفাই主催Excel表計算技能認定試験２級、Word文書処理技能認定試験２級合格							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	３０時間でマスター Excel 2016（実教出版） ３０時間でマスター Word 2016（実教出版） Excel表計算技能認定試験　２級問題集（サートیفাই） Word文書処理技能認定試験　２級問題集（サートیفাই）							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点 ピボットテーブルや関数を応用した表計算シート、スタイルの定義などを活用した文書を作成することができる								
☐ 思考・判断の観点								
☐ 関心・意欲の観点								
☐ 態度の観点 演習において主体的に不明点を質問・解決しながら課題・問題集に取り組む								
☐ 技能・表現の観点 Excel・Wordの機能を応用し、関数や複雑なグラフを利用した表計算シート、複数ページの文書が作成できる								
授業計画（全体）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
１～２	サートیفাই検定についての説明・模擬問題							
３～４	サートیفাই検定についての説明・模擬問題							
５～６	問題集の課題を各自練習							
７～８	問題集の課題を各自練習							
９～１０	問題集の課題を各自練習							
１１～１２	問題集の課題を各自練習							
１３～１４	問題集の課題を各自練習							
１５～１６	問題集の課題を各自練習							
１７～１８	問題集の課題を各自練習							
１９～２０	問題集の課題を各自練習							
２１～２２	USBを使用し時間計測・採点返却							
２３～２４	問題集の課題を各自練習							
２５～２６	問題集の課題を各自練習							
２７～２８	問題集の課題を各自練習							
２９～３０	問題集の課題を各自練習							
３１～３２	問題集の課題を各自練習							
３３～３４	USBを使用し時間計測・採点返却							
３５～３６	問題集の課題を各自練習							
３７～３８	USBを使用し時間計測・採点返却							
３９～４０	問題集の課題を各自練習							
４１～４２	サートیفাই表計算技能認定試験　２級							
４３～４４	サートیفাই表計算技能認定試験　２級							
４５～４６	問題集の課題を各自練習							
４７～４８	問題集の課題を各自練習							
４９～５０	USBを使用し時間計測・採点返却							
５１～５２	問題集の課題を各自練習							
５３～５４	問題集の課題を各自練習							
５５～５６	問題集の課題を各自練習							
５７～５８	サートیفাই文書処理技能認定試験　２級模擬問題							
５９～６０	サートیفাই文書処理技能認定試験　２級							
成績評価方法								
①　小テスト、定期試験（検定試験）、出席率								
②								
③								
④								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		50	秀、S（４）：９０点以上
小テスト							評価なし	優、A（３）：８０点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B（２）：７０点以上
授業態度				○			25	可、C（１）：６０点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（０）：５９点未満
演習	○				○		25	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（　）内はGPA点数
担当教員			澤井　直美		実務経験紹介			

科目名	表計算処理 I	単位数	4	科目コード				
授業形態	演習	時間数	60	開設期	1年前期			
受講条件		開設時期	後期	教員実務経験対象				
授業概要 （目的、 目標とする資格・検定 等）	仕事をするうえで必要とされる情報処理活用能力のうち、E x c e l を利用した関数やグラフの作成ができる能力を養う。							
授業の一般目標	1. マニュアルを見なくてもデータの入力、作成ができる。 2. E x c e l の機能のうち、計算式や関数及びグラフを利用した表計算シートの作成ができる。 3. サーティファイ主催E x c e l 表計算技能認定試験 2 級合格							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	30時間でマスター E x c e l 2016（実教出版） E x c e l 表計算技能認定試験 3 級問題集（サーティファイ） E x c e l 表計算技能認定試験 2 級問題集（サーティファイ）							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点 E x c e l を用いて、表計算シートを作成することができる								
☐ 思考・判断の観点 E x c e l の機能を活用し、関数やグラフを利用した表計算シートが作成できる								
☐ 関心・意欲の観点								
☐ 態度の観点 演習において主体的に不明点を質問・解決しながら課題・問題集に取り組む								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等	授業の記録			
1～2	コンピュータを使用する際の基礎知識							
3～4	文字入力、フォントの編集機能							
5～6	文字入力、フォントなど編集機能							
7～8	グラフ							
9～10	データベース機能							
11～12	問題集の課題を各自練習							
13～14	問題集の課題を各自練習							
15～16	問題集の課題を各自練習							
17～18	U S B を使用し時間計測・採点返却							
19～20	問題集の課題を各自練習							
21～22	問題集の課題を各自練習							
23～24	問題集の課題を各自練習							
25～26	問題集の課題を各自練習							
27～28	問題集の課題を各自練習							
29～30	U S B を使用し時間計測・採点返却							
31～32	問題集の課題を各自練習							
33～34	サーティファイ表計算技能認定試験 3 級							
35～36	文字列関数							
37～38	条件付き関数							
39～40	データベース関数							
41～42	問題集の課題を各自練習							
43～44	問題集の課題を各自練習							
45～46	問題集の課題を各自練習							
47～48	U S B を使用し時間計測・採点返却							
49～50	問題集の課題を各自練習							
51～52	問題集の課題を各自練習							
53～54	U S B を使用し時間計測・採点返却							
55～56	問題集の課題を各自練習							
57～58	サーティファイ表計算技能認定試験 2 級							
59～60	期末試験							
成績評価方法								
1 小テスト、定期試験（検定試験）、出席率								
2								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		60	秀、S（4）：90点以上
小テスト	◎	○					40	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B（2）：70点以上
授業態度							評価なし	可、C（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員		澤井 直美		実務経験紹介				

科目名	ビジネスマナー I	単位数	2	科目コード				
授業形態	講義	時間数	30	開設期	1年前期			
受講条件		開設時期	前期	教員実務経験対象	○			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	・ 接遇の心構えをふまえて、言葉遣い、人格的マナー等社会人としての基礎の習得を指導します。 ・ 敬語、ビジネス電話応対、手紙の書き方、Eメール送信の基礎を指導します。							
授業の一般目標	社会人・企業人として仕事をしていく上での心構え・ビジネスマナーを習得する							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	教本（実践ビジネスマナー）、電話応対模擬機材、便せん、封筒、切手							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	社会人・企業人としての基本的なマナー・ルールの理解							
☐ 思考・判断の観点	社会人として常識的な行動・言動を習得する							
☐ 関心・意欲の観点	物事に積極的に取り組む意欲を養う							
☐ 態度の観点	社会人としてふさわしい言動・身だしなみを身につける							
☐ 技能・表現の観点	正しい言葉遣い・あいさつ・行動等、コミュニケーション能力を高める							
授業計画（全体） 教本を軸として、様々なケースをロールプレイングを織り交ぜて授業を行います。 応対は模擬応対機を使用し、実務に即した応対を指導します。 社会人として即戦力となるビジネスマナーを習得すべく指導していきます。								
特に電話								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	第1章 社会人としての心構え1（接遇の基本理念・礼儀・マナー・CS思考）							
3～4	第1章 社会人としての心構え2（報告・連絡・相談）, 3							
5～6	第3章 言葉遣いの基本 1（日本語の特性、接客8大用語、クッション言葉）							
7～8	第3章 言葉遣いの基本 2							
9～10	第3章 言葉遣いの基本 3							
11～12	手紙の書き方 お礼状・お詫び状							
13～14	第5章 電話応対 1, 2 資料編1 発声練習、2 滑舌の練習							
15～16	第5章 電話応対 2, ロールプレイング3							
17～18	第5章 電話応対 3, 4							
19～20	第5章 電話応対 ロールプレイング4							
21～22	第5章 電話応対 5, ロールプレイング5							
23～24	第5章 電話応対 ケーススタディ3							
25～26	第5章 電話応対 6,（クレーム対応）							
27～28	第5章 電話応対 6,（Eメール）							
29～30	前期試験実施							
成績評価方法 1 期末試験（筆記）と出席率 2 3 4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎			秀、S（4）：90点以上
小テスト	◎	○						優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席								（ ）内はGPA点数
担当教員	江見恵子・池田美和子			実務経験紹介	https://urbanemi.com/			

科目名	ビジネスマナーⅡ		単位数	2	科目コード			
授業形態	講義		時間数	30	開設期	1年後期		
受講条件			開設時期	後期	教員実務経験対象	○		
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	・ 来客、訪問のマナーを実践練習を通して習得すべく指導を行います。 ・ 冠婚葬祭や食事のマナー、ビジネス文書、個人情報保護法についての基礎を指導します。							
授業の一般目標	社会人・企業人として仕事をしていく上でのビジネスマナー・社会常識を習得する							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	教本（実践ビジネスマナー）、名刺、湯飲み、茶托、お盆、カップ、ソーサー、割り箸等							
授業の到達目標								
□ 知識・理解の観点 社会人・企業人としての基本的なマナー・ルールの理解								
□ 思考・判断の観点 社会人として常識的な行動・言動を習得する								
□ 関心・意欲の観点 物事に積極的に取り組む意欲を養う								
□ 態度の観点 社会人としてふさわしい知識・言動・身だしなみを身につける								
□ 技能・表現の観点 正しい言葉遣い・あいさつ・行動等、コミュニケーション能力を高める								
授業計画（全体） 教本を軸として、様々なケースをロールプレイングを織り交ぜて授業を行います。 の仕方や、応接室や廊下、エレベーターを使用してのロールプレイングも実施します。 社会人として即戦力となるビジネスマナーを習得すべく指導していきます。								
名刺交換								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	第4章 来客応対 1, 2							
3～4	第4章 来客応対 ロールプレイング1							
5～6	第4章 来客応対 4, ロールプレイング2							
7～8	第4章 来客応対 5, ケーススタディ1							
9～10	第4章 来客応対 6							
11～12	第4章 来客応対 7, 9, 10							
13～14	第4章 来客応対 8, ケーススタディ2							
15～16	第6章 訪問のマナー1, ロールプレイング6							
17～18	第6章 訪問のマナー2							
19～20	第6章 訪問のマナー ロールプレイング7、名刺							
21～22	第6章 訪問のマナー3, 資料編3							
23～24	資料編4、5							
25～26	ビジネス文書							
27～28	個人情報保護法							
29～30	後期試験実施							
成績評価方法								
1 期末試験（筆記）と出席率								
2								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		60	秀、S（4）：90点以上
小テスト	◎	○					40	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B（2）：70点以上
授業態度							評価なし	可、C（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	江見恵子・池田美和子		実務経験紹介	https://urbanemi.com/				

科目名	インターンシップ		単位数	1	科目コード			
授業形態	実習		時間数	30	開設期	1 年生前期		
受講条件			開設時期	前期	教員実務経験対象	有		
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	実際の企業での就業体験を通じ働くことの意義を理解し、自らの将来的なビジョンを描けること。							
授業の一般目標								
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）								
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点 インターンシップの意義を理解し、自分自身のテーマを設定するとともに、実習先企業への実習前のコンタクトが適切に取れること。								
☐ 思考・判断の観点								
☐ 関心・意欲の観点								
☐ 態度の観点								
☒ 技能・表現の観点 実習日誌や報告書の書き方を理解すること。								
授業計画（全体）								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1	外部企業での実習							
2	外部企業での実習							
3	外部企業での実習							
4	外部企業での実習							
5	外部企業での実習							
6	外部企業での実習							
7	外部企業での実習							
8	外部企業での実習							
9	外部企業での実習							
10	外部企業での実習							
11	外部企業での実習							
12	外部企業での実習							
13	外部企業での実習							
14	外部企業での実習							
15	外部企業での実習							
成績評価方法								
1 評価報告書								
2								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	◎	◎	◎	◎		100%	秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席								（ ）内はGPA点数
担当教員				実務経験紹介				

科目名	データベース	単位数	4	科目コード				
授業形態	講義	時間数	60	開設期	2年生前期			
受講条件		開設時期	前期	教員実務経験対象	無			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	本授業では、データベースの仕組みについて説明が出来、データベースソフトACCESSを使ってデータベースを作成、抽出の操作ができるようになる。 目標とする資格はACCESSビジネスデータベース技能認定試験3級・2級の合格。							
授業の一般目標	(1)ACCESSの基本操作を習得ができる。 (2)マクロを使ったデータベースシステムを構築できる。							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	テキスト：ACCESS2016クイックマスター 問題集：Access®ビジネスデータベース技能認定試験 問題集（2016対応）							
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点 1. データベースの仕組みについて説明できる。 2. ACCESSを使ったデータベースを構築できる。								
☒ 思考・判断の観点 1. 指定されたデータ抽出のための条件指定を思考できる。								
☒ 関心・意欲の観点 1. データベース構築のためのGUIインタフェースについて最適化できる。								
☐ 態度の観点								
☒ 技能・表現の観点 1. データベースをシステムとして構築するためのマクロを使いこなせる。								
授業計画（全体）								
データベースの構造について学習し、ACCESSでのデータベース作成、テーブル、クエリー、フォーム、レポートの作成を行う。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1	データベースの仕組み							
2	ACCESSの基本操作							
3	テーブル作成							
4	クエリー作成							
5	フォーム作成							
6	レポート作成							
7	リレーションシップ							
8	マクロ作成							
9	データベース設計							
10	テーブル作成							
11	マスター入力画面の作成							
12	宛名ラベルの作成							
13	会員電話番号							
14	受注データ入力処理の作成							
15	会員別注文伝票の作成							
16	各種集計リストの作成							
17	過去データの処理							
18	処理の自動化							
19	3級過去問題演習							
20	3級過去問題演習							
21	3級過去問題演習							
22	3級過去問題演習							
23	3級過去問題演習							
24	3級過去問題演習							
25	2級過去問題演習							
26	2級過去問題演習							
27	2級過去問題演習							
28	2級過去問題演習							
29	2級過去問題演習							
30	2級過去問題演習							
成績評価方法								
(1)ACCESS3級・2級の検定試験の可否								
(2)ACCESS3級・2級の過去問実施履歴								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			◎		50	秀、S（4）：90点以上 優、A（3）：80点以上 良、B（2）：70点以上 可、C（1）：60点以上 不可、E（0）：59点未満 未修得、履修放棄、F （ ）内はGPA点数
小テスト		○	○		◎		30	
宿題授業外レポート								
授業態度			○	○			20	
発表・作品							評価なし	
演習							評価なし	
出席							欠格条件	
担当教員	赤木 康二			実務経験紹介				

科目名	Webプログラミング	単位数	6	科目コード				
授業形態	講義	時間数	90	開設期	2年生前期			
受講条件		開設時期	前期	教員実務経験対象	無			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	本授業では、Webページにおけるドロップダウンメニューや、スライドショーのアニメーション作成に用いられているJavaScript文法について学習する。Webページ制作においてはjQueryを活用し、							
授業の一般目標	JavaScriptを記述して、Web上でのアニメーションを作成できる。							
受講条件	HTMLとCSSが記述してある。							
事前学習について（テキスト・参考書等）	確かな力が身につくJavaScript「超」入門							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	JavaScriptのアニメーション機能について説明ができる。							
☐ 思考・判断の観点	各種機能を実装するための、ライブラリを活用する。							
☐ 関心・意欲の観点	積極的に、JavaScriptの機能をWeb上に取り込み機能的ページ作成ができる。							
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点	HTML+CSS+JavaScriptにより、デザインと機能がバランスが取れている。							
授業計画（全体）								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1	コンソール記述							
2	HTML内への記述、JSファイルの読み込み							
3	HTML ファイルへの出力							
4	条件分岐処理構文（else if）							
5	繰り返し処理構文(for while)							
6	配列の作成、HTMLへの追加							
7	データ登録、データをHTMLとして出力							
8	フォームの入力内容を取得する							
9	年月日と時間表示							
10	0表示、小数点四則演算							
11	カウントダウンタイマー							
12	カウントダウンタイマー応用							
13	プルダウンメニューで指示ページへ遷移							
14	アンケート記入ページ							
15	サムネイル画像クリックによる切り替え							
16	スライドショーアニメーション							
17	スライドショーアニメーション							
18	jQuery、開閉するナビゲーション							
19	jQuery、ボックスを開閉							
20	jQuery、空席情報を照会							
21	外部データ活用 最新記事一覧表示							
22	外部データ活用 Web APIを活用							
23	Ajaxによる非同期処理							
24	Ajaxによる非同期処理							
25	Ajaxによる非同期処理							
26	JavaScriptを使ったページ課題提出							
27	JavaScriptを使ったページ課題提出							
28	JavaScriptを使ったページ課題提出							
29	JavaScriptを使ったページ課題提出							
30	JavaScriptを使ったページ課題提出							
成績評価方法								
1 授業内で小課題を行う。 2 授業最終課題提出によって下記観点から評価を行う。 3 4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験					◎		20	秀、S（4）：90点以上
小テスト			○	○	◎		30	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度				◎			20	可、C（1）：60点以上
発表・作品	◎				◎		30	不可、E（0）：59点未満
演習							なし	未修得、履修放棄、F
出席							なし	（ ）内はGPA点数
担当教員	齊藤 寛和		実務経験紹介		https://www.noded.jp/blog/about/			

科目名	We bデザインⅡ		単位数	4	科目コード			
授業形態	講義		時間数	60	開設期	2年生前期		
受講条件			開設時期	前期	教員実務経験対象	○		
授業概要 （目的、 目標とする資格・検定等）	We bサイトデザインの仕様書作成、写真、イラスト等のコンテンツ準備、We bサイトの構築ができる。							
授業の一般目標								
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）								
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点								
☐ 思考・判断の観点								
☐ 関心・意欲の観点								
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等			授業の記録	
1～4	j Q u e r yについての導入							
5～8	j Q u e r yで出来る操作							
9～12	データを格納するためのデータ形式							
13～16	制御文							
17～20	動きのある表現							
21～24	丸いボタンのレイアウト							
25～28	スライドショー							
29～32	スティッキーヘッダー							
33～36	スムーズスクロール							
37～40	ギャラリーページ							
41～44	j Q u e r yM o b i l eについて							
45～48	ツールバー系コンポーネント							
59～52	ツールバー系コンポーネント							
53～56	モバイルサイト作成							
57～60	モバイルサイト作成							
成績評価方法								
1 期末テストを実施								
2								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎						100	秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席								（ ）内はGP点数
担当教員		齊藤 寛和		実務経験紹介		https://www.noded.jp/blog/about/		

科目名	ビジネス実践Ⅱ	単位数	6	科目コード				
授業形態	演習	時間数	90	開設期	2年生前期			
受講条件		開設時期	前期	教員実務経験対象				
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	インターネット上の「企画・宣伝・PR・集客・販売・調達」全般について理解や知識を基礎知識を学習し、習得する							
授業の一般目標	(1)インターネット上の「企画・宣伝・PR・集客・販売・調達」全般の知識を理解できる (2)お客様、取り扱い企業とのコミュニケーションの理解と実践ができる (3)ネットマーケティングの運営ができる							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	ネットマーケティング検定公式テキスト（インプレス）							
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点 1. ネットマーケティングの運営について説明できる。 2. ネットマーケティングの各領域の概要と課題を説明できる。								
☒ 思考・判断の観点 1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。								
☒ 関心・意欲の観点 1. ネットマーケティングに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。								
☒ 態度の観点 1. 日常生活の中でネットマーケティングについて主体的に考えることができる。								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
ネットマーケティング検定公式テキストを使い、理解を深めた後、学生ネットショップにて実践する。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1-3	インターネットマーケティングを行うにあたって							
4-6	インターネット技術概論							
7-9	総論 ～インターネットマーケティングの個別手法～							
10-12	インターネットリサーチ							
13-15	プロモーション（PR/ブランディング）							
16-18	インターネット広告							
19-21	インターネットを利用した販売							
22-24	効果測定							
25-27	外注管理							
28-30	各種ポリシー							
31-33	関連法規							
34-36	インターネットとコンプライアンス、CSR							
37-39	ネットショップ運営							
40-42	ネットショップ運営							
43-45	総括							
成績評価方法								
(1)授業の中で小テスト、授業内レポートを数回行う。								
(2)成果発表会にて、取り組んだ内容について、プレゼンし、審査を受ける								
(3)以上を下記の観点・割合で評価する。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					10	秀、S（4）：90点以上
小テスト	◎	○	◎				20	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	良、B（2）：70点以上
授業態度			○				10	可、C（1）：60点以上
発表・作品	◎		◎	◎			50	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席			○				欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	河津 道正			実務経験紹介				

科目名	表計算処理Ⅱ	単位数	4	科目コード				
授業形態	演習	時間数	60	開設期	2年前期			
受講条件		開設時期	前期	教員実務経験対象				
授業概要 （目的、 目標とする資格・検定等）	仕事をするうえで必要とされる情報処理活用能力のうち、E x c e lを利用した関数やグラフの作成ができる能力を養う。							
授業の一般目標	1. マニュアルを見なくてもデータの入力、作成ができる。 2. E x c e lの機能のうち、計算式や関数及びグラフを利用した表計算シートの作成ができる。 3. サーティファイ主催E x c e l表計算技能認定試験 1 級合格							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	30時間でマスター E x c e l 2016（実教出版） E x c e l表計算技能認定試験 3級問題集（サーティファイ） E x c e l表計算技能認定試験 1・2級問題集（サーティファイ）							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点 E x c e lを用いて、表計算シートを作成することができる								
☐ 思考・判断の観点 E x c e lの機能を活用し、関数やグラフを利用した表計算シートが作成できる								
☐ 関心・意欲の観点								
☐ 態度の観点 演習において主体的に不明点を質問・解決しながら課題・問題集に取り組む								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等	授業の記録			
1～2	コンピュータを使用する際の基礎知識							
3～4	文字入力、フォントの編集機能							
5～6	文字入力、フォントなど編集機能							
7～8	グラフ							
9～10	データベース機能							
11～12	問題集の課題を各自練習							
13～14	問題集の課題を各自練習							
15～16	問題集の課題を各自練習							
17～18	U S Bを使用し時間計測・採点返却							
19～20	問題集の課題を各自練習							
21～22	問題集の課題を各自練習							
23～24	問題集の課題を各自練習							
25～26	問題集の課題を各自練習							
27～28	問題集の課題を各自練習							
29～30	U S Bを使用し時間計測・採点返却							
31～32	問題集の課題を各自練習							
33～34	サーティファイ表計算技能認定試験 3級							
35～36	文字列関数							
37～38	条件付き関数							
39～40	データベース関数							
41～42	問題集の課題を各自練習							
43～44	問題集の課題を各自練習							
45～46	問題集の課題を各自練習							
47～48	U S Bを使用し時間計測・採点返却							
49～50	問題集の課題を各自練習							
51～52	問題集の課題を各自練習							
53～54	U S Bを使用し時間計測・採点返却							
55～56	問題集の課題を各自練習							
57～58	サーティファイ表計算技能認定試験 2級							
59～60	期末試験							
成績評価方法								
1 小テスト、定期試験（検定試験）、出席率								
2								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		60	秀、S（4）：90点以上
小テスト	◎	○					40	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B（2）：70点以上
授業態度							評価なし	可、C（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員		澤井 直美		実務経験紹介				

科目名	ビジネス会計Ⅱ	単位数	4	科目コード				
授業形態	講義	時間数	60	開設期	2年前期			
受講条件		開設時期	前期	教員実務経験対象	有			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	目標検定【全国経理教育協会 簿記能力検定2級以上】【全国経理教育協会 電卓計算能力検定2級以上】 資格を取得すれば就職の際には心強いスキルとなります。しっかり出席して身に付けましょう。							
授業の一般目標	中規模株式会社の収益費用勘定、決算整理ができ、これによる損益計算書と貸借対照表を作成できる（一般企業の経理担当業務ができる）							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）								
授業の到達目標								
□ 知識・理解の観点		貸借対照表、損益計算書が作成できる						
□ 思考・判断の観点		仕訳や伝票処理ができるようになる						
□ 関心・意欲の観点		株式会社の経理・財務担当者として、複式簿記の仕組みを理解できるようになり企業会計など関心がもてる						
□ 態度の観点		日常生活の中で、財務諸表をもとに主体的に考えることができる						
□ 技能・表現の観点		経理用語が理解できるようになる						
授業計画（全体） 座学を中心に授業をします。電卓、簿記の検定試験取得にむけて何度も繰り返し指導していきます。 【全国経理教育協会】電卓計算能力検定2級以上、簿記能力検定2級以上に合格できるように、試験の傾向と対策踏まえ学習していきます。 ※個々の能力に応じ、受験級もしくは日商簿記受験対策など個別に指導します。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	商品売買（3級の復習）							
3～4	当座預金とその他の預金、手形の処理							
5～6	手形などの処理							
7～8	有価証券							
9～10	固定資産							
11～12	引当金、株式の発行							
13～15	決算の手続き、精算表、財務諸表							
16～20	本支店会計、帳簿、伝票							
20～24	検定対策1問対応							
25～30	検定対策2、4問対応							
31～40	検定対策3問対応							
41～42	検定対策5問対応							
43～45	検定対策（電卓、簿記）							
46～50	検定対策（電卓、簿記）							
51～55	検定対策（電卓、簿記）							
56～60	検定対策（電卓、簿記）							
成績評価方法 1 授業の中で小テストを行う（電卓、簿記） 2 期末テストを行う（電卓、簿記） 3 検定試験に合格できる（電卓、簿記） 4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
検定試験合格（電卓）	◎						30	秀、S（4）：90点以上
検定試験合格（簿記）	◎						30	
小テスト	◎	○					10	優、A（3）：80点以上
定期試験	◎	○					30	良、B（2）：70点以上
授業態度							評価なし	可、C（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	吉村恵子		実務経験紹介	民間企業で営業・経理事務業務、指導を行う9年（日商・全経簿記、法人税、所得税検定合格）				

科目名	ビジネスマナーⅢ	単位数	2	科目コード				
授業形態	講義	時間数	30	開設期	2年前期			
受講条件		開設時期	前期	教員実務経験対象	有			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	社会人として仕事をしていくうえで必要なビジネス常識及び対人関係におけるマナーを身につけ、ビジネス実務マナー検定3級の取得を目指しましょう							
授業の一般目標	「ビジネス実務マナー検定3級」合格程度の知識、技能の習得							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	テキスト「ビジネス実務マナー検定受験ガイド3級」							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	組織の機能と役割について理解している							
☐ 思考・判断の観点	相手との人間関係を判断し、適切な話し方を考えることができる							
☐ 関心・意欲の観点	慶事、弔事に関する作法と服装について関心を持つようになる							
☐ 態度の観点	良識を持ち、素直な態度を取ることができる							
☐ 技能・表現の観点	基礎的な敬語を使用して会話ができる							
授業計画（全体）	「ビジネス実務マナー検定3級」テキストを反復学習し、確実な知識の習得をします。 実習形式の授業進行も取り入れ、実践的なスキルを身につけます。							
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1	ビジネスに必要な良識と自己管理							
2	業務を確実に実行するための能力							
3	組織の機能と役割を理解する							
4	良好な人間関係を築く態度と話し方							
5	あいさつと名刺交換マナー							
6	電話応対の基本							
7	来客応対のマナー							
8	報告・連絡・相談の仕方							
9	正しい敬語と感じの良い言葉づかい							
10	慶事・弔事の作法と服装							
11	交際業務							
12	情報の伝達と整理							
13	会議の運営							
14	事務機器、事務用品の基本機能							
15	文書の受発信、郵便の知識							
成績評価方法								
1 期末テスト（筆記）を行う								
2								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○	○	○	○	○		100	秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席								（ ）内はGPA点数
担当教員 秋穂由香			実務経験紹介		http://kandy.pro			

科目名	業務知識・業務分析	単位数	4	科目コード				
授業形態	講義	時間数	60	開設期	2年後期			
受講条件		開設時期	前期	教員実務経験対象	有			
授業概要 （目的、目標とする 資格・検定等）	本授業では、COG2019及びオープンデータアプリコンテストに資する上流から実装に至る様々な技術を講義・演習を通じて実践し、形にしていくことを目標とする。							
授業の一般目標	思考技法（親和図法、連関図法、ヒアリング、ブレンストーム）、情報技術（Raspbian, Python, nginx, PHP, 他）							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参 考書等）	テキスト：「最新 Raspberry Piで学ぶ電子工作」金丸隆志著 講談社 ISBN978-4-06-257977-3 参考書：「これ一冊で出来る！ ラズベリー・パイ超入門」 福田和宏著 ソーテック社 ISBN978-4-8007-1172-4 ：「ラズパイマガジン」 日経ＢＰ （みんなのラズパイコンテスト作品等の資料として使う）							
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点 (1)業務課題、ニーズ等を把握し、実現方式まで落とし込むことによって、上流過程での分析、企画技術を理解する。 (2)Raspberry Piを通じて、センサーなどをつないだ電子回路を動作させることで、基礎的なコンピュータ技術を理解する。 (3)小型サーバーを立てて、基礎的なWebサーバーやネットワーク技術を理解する。								
☒ 思考・判断の観点 (1)問題点分析、ニーズ把握に対して思考技術（ロジカルシンキング、ヒアリング等）を身につける。 (2)課題解決のための手段展開を行い、基本的な計画策定が出来るよう思考技術を体験する。								
☒ 関心・意欲の観点 (1)IoT、サーバーなどコンピュータで実現する方法が多くあることを学び、ＩＴに関する関心を高める。 (2)意欲的に取り組み、入力を増やすことによって、良いアウトプットが出ることを体感する。								
☒ 態度の観点 (1)仲間を尊重し、自らもリーダーシップを発揮することでプロジェクトを円滑に進行させる態度を身につける。								
☒ 技能・表現の観点 (1)自分たちの成果が、UX(User Experience)を通じて、使う人に感動を与えることを学ぶ。 (2)実装技術のみならず、それをプレゼンテーションする資料、表現方法を学ぶ。								
授業計画（全体）								
(1)小型コンピュータ（ラズパイ）でも出来ることを学ぶ。（IoT、UNIXサーバー） 1～4回次 (2)問題解決技法を用いて、基本計画書、プロジェクト計画書を作成し、プロジェクトを発足する。5～8回次 (3)リインストールアップのための、エクストリーム・プログラミングの実施 9～14回次 (4)成果発表 15回次								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～4	座学（サーバーで何ができるのか、夢をレポートで提出）		教科書を読んでおくこと（２章まで）					
5～8	Raspberry Pi設定、VNC他の設定、UNIXサーバーとして起動		教科書を読んでおくこと（５章まで）					
9～12	プログラミングによるＬＥＤ点灯、WebIOPiでの接続							
13～16	チームビルド、HTML、PHPによるWebサーバー立ち上げ							
17～20	問題解決技法（ヒアリング）		秋穂エビ、阿東シードル					
21～24	問題解決技法（ＫＪ法、問題関連図、目的手段展開）		基本計画書用プレゼン資料準備					
25～28	基本計画書発表		フィールドワークのアポイント					
29～32	プロジェクト計画、システム計画、計画発表							
33～36	システム設計							
37～40	プログラム作成							
41～44	プログラム作成							
45～48	フィールドワーク（UXヒアリング、ピボット）							
49～52	システム設計、プログラム作成							
53～56	システム設計、プログラム作成、最終プレゼン準備							
57～60	小テスト、最終プレゼン（デモを含む）							
成績評価方法								
1 授業で出した課題を提出し、理解度をチェック 2 チームで完成させた成果物及び説明プレゼンを通じて理解度をチェック 3 演習や授業態度を見て、関心・意欲をチェック 4 出席が半分に満たないもの、授業中の態度が著しく悪いものは評価しない								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験							評価せず	秀、Ｓ（４）：９０点以上
小テスト	◎	◎			◎		20	優、Ａ（３）：８０点以上
宿題授業外レポート							評価せず	良、Ｂ（２）：７０点以上
授業態度			◎	◎			20	可、Ｃ（１）：６０点以上
発表・作品	◎	◎	◎	◎	◎		40	不可、Ｅ（０）：５９点未満
演習		◎	◎	◎			20	未修得、履修放棄、Ｆ
出席							欠格条件	（ ）内はＧＰＡ点数
担当教員	中村 誠			実務経験紹 介	http://www.shonanwind.com/profile.html			

科目名	卒業制作	単位数	6	科目コード				
授業形態	演習	時間数	90	開設期	2年生後期			
受講条件		開設時期	後期	教員実務経験対象	無			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	作品完成に向けたスケジュールリングをたて、計画の遂行と修正を行いながら納期に合わせた完成に取り組むことができる。作品を完成するために必要となるコンピュータ技術を得得する。							
授業の一般目標	卒業制作の作品完成							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）								
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点 授業で習得した技術を使い作品制作を行う								
☐ 思考・判断の観点 作品使用の策定と仕様のドキュメント作成と管理ができる								
☐ 関心・意欲の観点 積極的に、自からイラスト起こしを行う								
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点 完成作品について、客観的視点で操作性やインタフェースデザインの品質について評価								
授業計画（全体）								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1	卒業研究についての目的について理解する							
2	卒業制作テーマ決めと作品概要を検討する							
3	要求事項洗い出し、要求仕様書の作成を行う							
4	要求事項洗い出し、要求仕様書の作成を行う							
5	レビューを実施し、仕様についてみ直しをおこなう							
6	スケジュール計画をたて、ガントチャートの作成を行う							
7	スケジュール計画をたて、ガントチャートの作成を行う							
8	基本計画を作成し、基本計画書の作成を行う							
9	基本計画を作成し、基本計画書の作成を行う							
10	画面遷移を作成し、画面仕様を作成する							
11	画面設計書を作成し、入力支援の機能を設ける							
12	画面設計書を作成し、入力支援の機能を設ける							
13	内部設計を行い、内部設計書を作成する							
14	内部設計を行い、内部設計書を作成する							
15	レビューを実施し、内部設計の見直しを行う							
16	レビューを実施し、内部設計の見直しを行う							
17	中間動作確認にむけて、報告書作成する							
18	中間動作確認にむけて、報告書作成する							
19	作品概要中間動作確認							
20	作品制作、作品完成にむけて取り組む							
21	作品制作、作品完成にむけて取り組む							
22	作品制作、作品完成にむけて取り組む							
23	作品制作、作品完成にむけて取り組む							
24	作品制作、作品完成にむけて取り組む							
25	作品制作、作品完成にむけて取り組む							
26	動作検証を行い、不正動作のデバッグ							
27	動作検証を行い、不正動作のデバッグ							
28	発表準備							
29	発表準備							
30	作品制作発表							
成績評価方法								
1 提出物として、ドキュメント一式と制作物が所定日までに提出されている								
2 作品が動作することを確認できる。または、デザインについては作品集として提供されている。								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								秀、S（4）：90点以上
小テスト			◎				20	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度				◎			30	可、C（1）：60点以上
発表・作品	◎	◎			◎		50	不可、E（0）：59点未満
演習							なし	未修得、履修放棄、F
出席							なし	（ ）内はGPA点数
担当教員	赤木 康二		実務経験紹介					

科目名	資格対策Ⅱ	単位数	4	科目コード				
授業形態	演習	時間数	60	開設期	2年生後期			
受講条件		開設時期		教員実務経験対象	無			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	この授業科目は目標とする検定資格（ITパスポート、セキュリティマネージメント試験、基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、その他の資格）ごとにクラス分けを行い、それぞれ別の教室で資格対策の授業を行う。なお、学期途中で目標検定資格に合格した場合は、より上位資格を目指すクラスへと移籍することができる。 この授業科目では、自らが定めた検定資格合格を目標に、学習計画の立案、進捗状況確認、疑問点の改善を自発的に行いながら学習を行う。							
授業の一般目標	それぞれが目標とする検定資格に合格をする							
受講条件	なし							
事前学習について（テキスト・参考書等）	なし							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点 ・知識系検定試験の模擬試験において、合格点以上とることができる								
☐ 思考・判断の観点 ・計算系検定試験の模擬試験において、合格点以上とることができる								
☐ 関心・意欲の観点 ・検定試験対策を進める上で、わからない箇所を教員やクラスメートに質問することができる								
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点 ・実技系検定試験の模擬試験において、合格点以上とることができる								
授業計画（全体）								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～4	検定試験対策							
5～8	検定試験対策							
9～12	検定試験対策							
13～16	検定試験対策							
17～20	検定試験対策							
21～24	検定試験対策							
25～28	検定試験対策							
29～32	検定試験対策							
33～36	検定試験対策							
37～40	検定試験対策							
41～44	検定試験対策							
45～48	検定試験対策							
49～52	検定試験対策							
52～56	検定試験対策							
57～60	検定試験対策							
成績評価方法								
1 授業内で小テスト（模擬試験）を行う。 2 目標とする検定試験に合格した場合は加点を行う 3 4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○	◎					35	秀、S（4）：90点以上
小テスト	○	◎	○				65	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート							なし	良、B（2）：70点以上
授業態度							なし	可、C（1）：60点以上
発表・作品							なし	不可、E（0）：59点未満
演習							なし	未修得、履修放棄、F
出席							なし	（ ）内はGPA点数
担当教員	赤木康二			実務経験紹介				

[illegible]

科目名	プレゼンテーション	単位数	4	科目コード				
授業形態	演習	時間数	60	開設期	2年生後期			
受講条件		開設時期	後期	教員実務経験対象	無			
授業概要 （目的、目標とする資格・検定等）	プレゼンテーション能力の向上、および効率的なプレゼン技法の活用し、聴衆に説得力のあるプレゼンを実施できる。							
授業の一般目標	プレゼンツールを使って効率的にプレゼンできる。							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	プレゼン技法							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点PowerPointを使うことができる。								
☐ 思考・判断の観点プレゼンを論理的に組み立てることができる								
☐ 関心・意欲の観点 積極的に、自からイラスト起こしを行う。								
☐ 態度の観点 プレゼン技法を要所にとりいれて、印象の良いプレゼンができる。								
☐ 技能・表現の観点 イラスト作成のための曲線ポイントを滑らかに制作できる。 We b用のロゴのデザインができる。								
授業計画（全体）								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1	「プレゼンテーション」の重要性理解							
2	プレゼンツールの使い方を習得する							
3	レイアウトの切り替えができる							
4	スライドマスタの作成の仕方を習得する							
5	オブジェクトオートシェイプの作成							
6	アニメーションの操作方法を習得する							
7	効果的なプレゼン資料の作成の仕方を学ぶ							
8	情報の収集技法を学ぶ							
9	情報の収集技法を学ぶ							
10	情報の整理技法を学ぶ							
11	情報の整理技法を学ぶ							
12	発表の仕方							
13	発表の仕方							
14	発表の仕方							
15	論理的プレゼン制作							
16	論理的プレゼン制作							
17	「プレゼンテーション」課題							
18	自己PRプレゼン作成							
19	自己PRプレゼン							
20	就職向けプレゼン作成							
21	就職向けプレゼン							
22	時事問題調査プレゼン作成							
23	時事問題調査プレゼン							
24	学科WEBページの仕様策定							
25	学科WEBページの仕様策定							
26	学科WEBページのコンテンツ収集							
27	学科WEBページの作成							
28	学科WEBページの作成							
29	学科WEBページの作成							
30	学科WEBページ発表							
成績評価方法								
1 発表用プレゼン資料の提出								
2 各発表課題について発表姿勢、わかりやすさ、見やすさについて評価								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験				◎			20	秀、S（4）：90点以上
小テスト			○		◎		20	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度				◎			20	可、C（1）：60点以上
発表・作品		◎		◎	◎		40	不可、E（0）：59点未満
演習							なし	未修得、履修放棄、F
出席							なし	（ ）内はGPA点数
担当教員	赤木 康二		実務経験紹介					

科目名	ビジネスマナーⅣ	単位数	2	科目コード				
授業形態	講義	時間数	30	開設期	2年生後期			
受講条件		開設時期	後期	教員実務経験対象	有			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	社会人として仕事をしていくうえで必要なビジネス常識及び対人関係におけるマナーを身につけ、ビジネス実務マナー検定3級の取得を目指しましょう							
授業の一般目標	「ビジネス実務マナー検定3級」合格程度の知識、技能の習得							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	テキスト「ビジネス実務マナー検定受験ガイド3級」							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点 組織の機能と役割について理解している								
☐ 思考・判断の観点 相手との人間関係を判断し、適切な話し方を考えることができる								
☐ 関心・意欲の観点 慶事、弔事に関する作法と服装について関心を持つようになる								
☐ 態度の観点 良識を持ち、素直な態度を取ることができる								
☐ 技能・表現の観点 基礎的な敬語を使用して会話ができる								
授業計画（全体）								
「ビジネス実務マナー検定3級」テキストを反復学習し、確実な知識の習得をします。 実習形式の授業進行も取り入れ、実践的なスキルを身につけます。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1、2	問題演習1							
3、4	問題演習2							
5、6	問題演習3							
7、8	問題演習4							
9、10	問題演習5							
11、12	問題演習6							
13、14	問題演習7							
15、16	問題演習8							
17、18	問題演習9							
19、20	問題演習10							
21、22	問題演習11							
23、24	問題演習12							
25、26	問題演習13							
27、28	問題演習14							
29、30	期末テスト							
成績評価方法								
1 期末テスト（筆記）を行う								
2								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○	○	○	○	○		100	秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席								（ ）内はGPA点数
担当教員 秋穂由香				実務経験紹介	http://kandy.pro			